

総務政策分科会会議録

招 集

令和4年7月27日（水）午後1時 議場

出席委員（9名）

（分科会長）岡 田 啓 介 （副分科会長）今 城 雅 子
伊 藤 ひろえ 稲 田 清 奥 岩 浩 基 徳 田 博 文
松 田 真 哉 森 田 悟 史 渡 辺 穰 爾

欠席委員（0名）

出席した事務局職員

松下局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 田中庶務担当係長

傍 聴 者

安達議員 岩崎議員 大下議員 門脇議員 田村議員 塚田議員 津田議員
戸田議員 錦織議員 西野議員 又野議員 森谷議員 矢田貝議員 吉岡議員
報道機関 2社 一般 3人

説明のため出席した者

伊澤副市長

【総務部】永瀬部長 辻統括調整官 佐小田防災安全監

〔秘書広報課〕角課長

〔総務管財課〕松本課長

〔防災安全課〕大野原課長 西畑主査兼地域安全担当課長補佐

〔調査課〕足立課長

〔職員課〕伊藤課長 松永給与担当課長補佐

〔財政課〕長谷川次長兼課長 大塚課長補佐兼総括主計員

〔契約検査課〕福田課長

【総合政策部】河田人権政策監兼人権政策課長

〔総合政策課〕堀口次長兼課長

〔まちづくり企画課〕川本課長 藤堂まちづくり企画担当課長補佐

〔都市創造課〕相野課長 石原都市計画担当課長補佐

〔交通政策課〕倉本課長 山根課長補佐

〔情報政策課〕最上課長

〔地域振興課〕毛利課長

〔男女共同参画推進課〕長谷川課長

【淀江振興本部・淀江支所】中久喜本部長兼支所長

〔淀江振興課〕山浦課長 山川課長補佐兼振興担当課長補佐

〔地域生活課〕小乾課長 藤岡総務担当課長補佐

審査事件

議案第60号 令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）

~~~~~

## 午後 1 時 0 2 分 開会

**○岡田分科会長** 予算決算委員会総務政策分科会を開会いたします。

本日は、25日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案1件について審査いたします。

議案第60号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち、総務部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

長谷川総務部次長。

**○長谷川総務部次長兼財政課長** そういたしますと、議案第60号、令和4年度米子市一般会計補正予算（補正第3回）のうち、総務部所管部分について説明をさせていただきます。資料につきましては、別途お配りしております令和4年度7月補正予算、歳出予算の事業の概要、こちらで説明をさせていただきたいと思っております。

歳出予算の事業の概要の1ページ目をお開きください。1ページ目の下の段でございます。支所非常用発電機設置事業といたしまして、1,242万3,000円を計上しております。これは、大規模な災害に備え、淀江支所の非常用発電機の更新を行うものでございます。国の補助金の採択がございましたことから、このたび補正予算を計上させていただくものでございます。内容といたしましては、実施設計や地質調査等を今年度行いまして、来年度に設置工事を行う予定としております。

続きまして、13ページをお開きください。13ページの上の段でございます。少年消防クラブ防災教育事業といたしまして、60万円を計上しております。これは、少年消防クラブの防災活動に伴います備品を整備するものでございますけれども、自治総合センターの交付金の採択を受けましたことから、このたび補正予算を計上するものでございまして、防災教室などの催しを行う際の放送機材を導入しようとするものでございます。

説明は以上です。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様から意見を求めます。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 1ページの支所非常用発電機設置事業なんですけど、これ実施設計になるので、まだ現時点では分からないとは思いますが、この非常用電源が、階が高い方がいいのか、それとも地震等を考えると地下のほうがいいかっていうのが、いろいろあるかとは思いますが、今のところどちらの見込みで御準備される予定でしょうか。

**○岡田分科会長** 大野原防災安全課長。

**○大野原防災安全課長** 特定の災害っていうよりも、大規模災害、これを想定しております。非常用電源が稼働するっていう状況になりますと、当然のことながら電源が喪失している状況下でございます。その中で考え得る自然災害、例えば大規模な地震、あるいは水害等々……。

（「どこに設置するかを聞かれとる」と声あり）

失礼いたしました。勘違いしてございまして、どこに設置するかという御質問でございますが、淀江支所の東側に隣接して設置する予定にしております。以上です。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 燃料タンク等の設備と、あと更新ですので、現時点あるところからの、そのまま延長になるのかなと思います。地震被害と水害と両方鑑みて設計のほうを御準備していただければと思いますので、お願いします。以上です。

○岡田分科会長 ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので、以上で総務部所管の審査を終わります。

予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

午後 1 時 0 7 分 休憩

午後 1 時 1 2 分 再開

○岡田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。

議案第 60 号、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 3 回）のうち、総合政策部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

堀口総合政策部次長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 そういたしますと、令和 4 年度米子市一般会計補正予算（補正第 3 回）、説明をいたします。総合政策部関係を御説明いたします。

まず、歳出予算の事業の概要の 1 ページをお開きください。1 ページ上段、自主防災組織育成事業として、120 万円を計上しております。これは、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織等が行う防災資機材整備に補助金を交付しようとするものでございます。

続きまして、2 ページ上段、公共交通フェスタとして、350 万円を計上しております。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通の利用者が大幅に減少している中、利用の回復に向けて、公共交通をより身近に感じてもらうためのイベントを開催するものでございます。

続きまして、2 ページ下段、コロナ禍における子育て応援タクシー事業として、300 万円を計上しております。これは、コロナ禍における妊産婦の健診等による移動時の感染リスクの軽減を図るとともに、タクシーの利用促進を図るものでございます。

続きまして、3 ページ上段、タクシー事業者燃料高騰緊急支援事業として、1,000 万円を計上しております。これは、燃料価格の高騰により大幅に経営が悪化しているタクシー事業者に対して、車両 1 台当たり 5 万円の財政支援を行うものでございます。

3 ページ下段、鳥取大学医学部附属病院とのまちづくり連携事業として、100 万円を計上しております。これは、新病院建設推進委員会に参画し、新病院建設と連動した本市のまちづくりについて検討を進めるため、調査研究を行うものでございます。

続きまして、4 ページ上段、宝くじ助成事業補助金として、830 万円を計上しております。これは、自治会等コミュニティー組織の活動支援として、備品等の整備を行う自治会等に補助金を交付しようとするものでございます。

続きまして、13 ページ下段、公民館施設等整備事業を御覧ください。3,500 万 9,000 円を計上しております。これは、ウィズコロナ時代において、ICT を活用した非接触、非対面での事業の実施を図るため、公民館に W i - F i 環境等の整備を行うものでございます。

予算説明は以上となります。

**○岡田分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

伊藤委員。

**○伊藤委員** それでは、何点か質問させていただきたいと思います。

まず、2ページ、公共交通フェスタですけれども、イベントは具体的にどのようなものか、どのようなものを想定されているのかお尋ねします。

その次、下段のコロナ禍における子育て応援タクシー事業については、例えば、里帰り出産とか、あとDV被害者等、住民票がこちらにない人は、どのようにこの事業が使えるのかどうなのかというのを教えていただきたいと思います。

以上、取りあえず2点お願いします。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** まず、1つ目の公共交通フェスタのイベントの内容でございますけれども、今後、具体的には実行委員会のほうで決定していくこととなりますけれども、現在検討段階ですが、想定しているものとしましては、会場内に車両を展示、空港の連絡バスでありますとか、だんだんバス、あとタクシーなどの車両を展示したいと考えております。あと、バスレンジャーという戦隊ものの方々の協力をいただきまして、バスの乗り方教室というものを開催したいと思います。あと、それに、フードエリアというものを設定しまして、そこにキッチンカーですとか屋台を出店して、にぎわっていただけるようにと考えております。あと、それに加えまして、ミニサンライズ号でありますとか、グリーンスローモビリティを使って乗車体験をしていただく、身近に感じていただくためにこのような取組をしたいと思います。あと、今ちょっとこれもアイデア段階なんですけど、だんだんバスを使いまして、スタンプラリーなどもできないかなということで、今検討しているところでございます。イベントの内容は以上です。それと、会場なんですけど、コンベンションセンターを今想定しておりますので、よろしくをお願いします。

あと、お尋ね2番目のDV被害者の方でありますとか、里帰り出産で住民票が米子にない方なんですけども、この仕組みが住民票を基に考えておりますので、住民票がない方については、今の現時点で想定しておりませんでした。以上です。

**○岡田分科会長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 公共交通フェスタのところでは、御丁寧にお答えいただきましてありがとうございます。私も、実際乗ってみる乗車体験というのが、今後につながるのかなと思いますので、ぜひそこを主力として行っていただきたいなと思います。

あと、次の子育て応援タクシーの件ですが、検討を今からでもいただけないのかなというふうに思いますので、ぜひ御検討をお願いしたいと思います。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** タクシーの応援事業のほうですけれども、住民票以外で把握する方法がないかというのを検討させてもらいたいと思います。

**○岡田分科会長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** ぜひ、よろしくお願いいたします。

あと2点ですが、3ページ下段の鳥取大学医学部附属病院の連携事業なんですけれども、

この視察経費 54 万円ですが、視察先等、人数等分かれば教えていただきたいと思います。

あと、13 ページ下段の公民館施設等整備事業についてです。総括質疑で大体のことは分かりましたけれども、担当課として、得られる効果というところはどのように考えていらっしゃるのかということ質問したいと思います。以上です。

○岡田分科会長 堀口総合政策部次長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 最初の3 ページ下段の鳥取大学の連携なんですけども、視察先と人数につきましては、これから検討します。ただ、目安としては、現在再整備中の大学の自治体がありますので、そういったところを目がけて勉強していきたいと考えております。

○岡田分科会長 毛利地域振興課長。

○毛利地域振興課長 公民館等整備事業について、地域振興課のほうからお答えいたします。

得られる効果ということでございました。Wi-Fi の設置に関しましては、現在、地域での、公民館でのいろいろな活動がもう少し多くなっていくことを期待しているところがございます。積極的に活動の数が増えていくことを期待していることとございます。同時に、キーポストに関しましては、非接触で手渡しができるような形ですから、使う方の利便性を向上することを目的にもできますけれども、非接触でこれも利用者が増えるようにというふうに望んでいるところとございます。期待される効果というふうに思っております。以上です。

○岡田分科会長 伊藤委員。

○伊藤委員 今まで、Wi-Fi については、鳥取市だとか他市は先進でもう既に使えるようにはなっているところだと思いますが、米子市は各団体なかなか使えないという苦情もとても多かったので、ぜひ団体に丁寧に周知をしていただきたいと思います、使えますよということを周知していただきたいと思います。それで活動が多くなるんじゃないかなと思いますので、よろしく願いいたします。

また、以前から申しておりますが、公民館での申請についても、やっぱり私は、コロナ禍ですので非接触、また、若い方もどんどん利用が増えるように、ネットだとかメールだとか、そういうような形でやっていただきたいと思いますので、併せてそれをお願いしたいと思います。以上です。

○岡田分科会長 ほかに。

今城委員。

○今城委員 続いてなんですが、2 ページのコロナ禍における子育て応援タクシー事業です。本会議のときにもお願いをされていて、検討ということでしてくださった事業ですので、とても喜んでおりますが、一つ確認としてですけれども、内容の③のところで、事業開始時点から令和4年11月30日までの間に母子手帳が交付された者というふうにありますので、それはとてもいいとは思いますが、この頃に母子手帳交付ということでしたら、使える期限とかっていうものについてはどういうふうに検討されているのでしょうか。

○岡田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 母子手帳の関係については、11月末で交付された方ということで締め切るんですけども、事業につきましては2月末までの実施を予定しております。

○岡田分科会長 今城委員。

○今城委員 それで、本会議のときにもお話ししたと思うんですけども、実際、前回、昨年の事業のときに、本当に使い勝手が悪かったって言われたのは、結局、出産した後に使いたいのに使えないんだっていうことをおっしゃってたんですね。今の話で、もちろん予算の執行のことがあるんで、何でもかんでも繰越明許にしないといけないわけでもないけれども、11月までっていうことになっていくと、大体が出産が早くてその頃ですよっていう感じになると、その後に使いたくなるわけですよ。2月の終わってから以降に使いたくなるっていう人たちがいるのに、結局このときに頂いたとしても、本当に使いたいときには、もうこれは使う期限が終わってますよみたいなことになりかねないというか、なるんですよ。出産前って、自分たちでも案外行動できる、動けるんですけども、その後動きにくくなるので使いたいのに、その時期に使えないっていうこと、これが一番おっしゃってたことなのに、実際、今回もそれと同じことになるんだったら、一体何のためというところが、ちょっと考えないといけないんじゃないかなと思うところなんですけど、もうちょっと期限の分については、もちろんこの予算を使うので執行の期限というのがあるのは分かってるんですけど、何とかなるっていうことは今後検討できないんでしょうか。

○岡田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 本会議のとき、過去に質問いただきまして、そのときも説明したと思うんですけども、財源のほうは臨時交付金を活用してということがございますので、年度内に完了というのが、これが要件になってきております。しかしながら、御提案いただいている件については、利用者様の利便性っていう面もあろうかと思っておりますので、今すぐ回答できませんけども、方法がないかっていうのはちょっと研究してみたいと思います。以上です。

○岡田分科会長 今城委員。

○今城委員 実際、そういう声がたくさんあったというところはちょっと酌んでいただくとありがたいなと思いますので、御検討くだされば喜びます。よろしく願います。

○岡田分科会長 ほかにありませんか。

奥岩委員。

○奥岩委員 何点か伺わせてください。まずは、2ページ目の公共交通フェスタなんですけど、内容については、先ほど伊藤委員の質問である程度分かったんですが、これ11月開催ということで、何人ぐらいの方が参加されるの見込まれていらっしゃいますでしょうか。

○岡田分科会長 倉本交通政策課長。

○倉本交通政策課長 来場者の見込みということですが、会場がコンベンションセンターの多目的ホール、これは全面を使ってやろうと思っております。それで、鳥取市のほうで同種のイベントっていうのをしておられまして、ちょっとこれコロナ禍の前の数字なんですけども、例年3,000人程度の集客があったようです。この乗り物関係のイベントっていうのは、かなり皆さん来ていただけるイベントですので、目標というわけではないですけども、3,000人程度来ていただけると非常にうれしいと思っております。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 そういたしますと、ここ予算計上されてる中で、感染対策のをもちろん使用

されると思うんですけど、内訳のところ、予算の内訳ですね。そういたしますと、この350万っていうのが、見た目的に非常に大きい気がするんですけど、先ほどお話しされてました出演料とか車両展示料とか、そういったところで経費がかかる形でしょうか。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** 今、見積もっている中で、数字の大きいもの、主なものを御説明いたします。まず、コンベンションセンターの多目的ホール全面ということで、会場費のほう約60万円程度かかります。これが大きいものでございまして、あとは、1回目のイベントということで、広報費ですね、周知したりする費用というのが、こちら60万円ほど見込んでおります。それ以外については、それぞれの車両の運搬にかかる費用とか、細かなものを積み上げていくと、この予算額になるということでございます。以上です。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** 細かいところは、また聞かせていただけたらと思うんですけど、そういたしますと、広報費60万で3,000人見込みとすると、単純計算をして、この広報費が妥当なのかどうなのかなっていうのが少し分からなかったんですけど、この広報費はテレビCMを使うから高いんだとか、ラジオCMを使うから高いんだとか、またはチラシを大量に配るので、全戸配布するのでこんだけかかるんだっていうような形なんですか。

**○岡田分科会長** 倉本交通政策課長。

**○倉本交通政策課長** まず、メインとなる広報手段としましては、新聞の折り込み広告を考えております。広告のデザイン料であったり、それも含めての60万円です。あと、それに加えて、DARAZ-FMさんに今、下話だけさせてもらってるんですけども、FM放送を事前に流してもらったりということも考えておりますし、当日会場に入ってもらって放送するというのも検討しております。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** しっかりと見積り取られてまして、目標とされてます人数3,000人に向けて頑張っていただければと思うんですけど、最初お話しされてましたとおり、11月なんですけど、コロナ禍でどういうふうになるかも分からないっていうような状況で、公共交通のほう盛り上げていこうというのは、もちろん、ぜひぜひやっていただきたいんですけど、そうなったときに、広報の仕方とか予算のかけ方っていうのは非常に重要になってくるかなと思いますので、そのところは、ただイベントをやりましたで終わらないように、これをきっかけに、最初お話しされてましたとおり、公共交通の利用が促進できるようにもう一度盛り上げられるような誘導策といいますか、そういったところまで見据えてやっていただきたいなと思います。

総務政策委員会ですので、所管外なのであんまりお話しはしませんが、同様に、この夏に開催される米子がいな祭は、当初予算で500万ついてまして、コロナの感染対策等で予算がかなり圧迫されてるっていうようなお話も聞きますので、通常、がいな祭が20万人規模の事業で、こちらのほうは3,000人っていうふうになるので、単純計算をしてちょっと予算額が気になりましたので、聞かせていただきました。これに限らず、公民館活動等は、予算化されて感染症対策、消毒もろもろ準備をされてると思いますので、引き続きそのところは準備をして、しっかりと盛り上げていただければなと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、3ページのタクシー事業者燃料高騰緊急支援事業なんですが、こちらのほうの交付時期については、いつ頃を見込んでおられますでしょうか。

○岡田分科会長 山根交通政策課長補佐。

○山根交通政策課長補佐 タクシー事業者に対する燃料費高騰の緊急支援策なんですけども、予算可決次第、8月の上旬にはタクシー事業者に案内を発送しようと考えております。以上です。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 予算可決後に、8月上旬を見込んでおられるっていうことなんですが、8月上旬に発送されて、その後、実際の交付にまではどれぐらい期間がかかりますでしょうか。

○岡田分科会長 山根交通政策課長補佐。

○山根交通政策課長補佐 実際には、タクシー事業者の方から申請をいただきまして、内部での諸手続を踏んだ後、30日以内にはタクシー事業者のほうに支援金を交付する形になります。以上です。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 書類を受け取ってから、30日以内に交付っていうことですね。これ緊急支援事業なので、もう少し早くはならないもんですかね。30日かかっちゃいますか。

○岡田分科会長 山根交通政策課長補佐。

○山根交通政策課長補佐 支援金を交付するのに、暴力団への照会とか公安委員会の照会がありますので、その回答があり次第、すぐに交付したいと考えております。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 そういたしますと、多分、30日じゃなくてもっと早く済むと思いますので、緊急支援事業になりますので、予算可決後の話にはなりますが、30日といわずに、1週間なのか2週間なのか、もう少し頑張っていたいただければと思いますので、今からでも期間短縮でどういったことができるのかっていうのは精査できると思いますので、そちらのほうの御準備をお願いいたします。繰り返しになりますけど、通常の事業ではありませんので、緊急支援になりますので、緊急的な対応をしていただきたいと思います。

もう2点、すいません、お願いします。同じページの下段の鳥取大学医学部附属病院とのまちづくり連携事業なんですが、先ほど視察費のほうは伺わせていただきました。新鳥大病院建設推進委員会っていうのが設置されるということなんですけど、こちらはどこに設置されるものになるのでしょうか。

○岡田分科会長 堀口総合政策部次長。

○堀口総合政策部次長兼総合政策課長 これは、鳥取大学の中にもありますけども、米子市も窓口としては総合政策課、共同の事務局というふうになりますので、複数のところに事務局があります。

○岡田分科会長 奥岩委員。

○奥岩委員 分かりました。詳細は報告のほうでもあるかと思いますが、そちらのほうで御説明聞いてから、また伺わせていただこうと思います。

最後になりますが、13ページの公民館施設等整備事業につきまして、こちらなんですが、たまたまだとは思うんですけど、同様に7ページでICTでつながるフレイル予防実践事業っていうのがありまして、これは、今回公民館にこのネット環境準備ができれば、



フレイルのほうも速やかに、この事業も開始されるというような理解でよろしいでしょうか。

**○岡田分科会長** 毛利地域振興課長。

**○毛利地域振興課長** おっしゃっていただいている公民館でのWi-Fi、あるいはネット環境からのリモートのインターネット接続ということになると思いますが、現在予定しておりますWi-Fiの工事というのは、すぐ取りかかって、大至急やっつけようというふうに思っておりますが、大体年度いっぱいかかりそうな一応見込みでいるところがございます、その間も含めましてのフレイルのほうは早めに事業に着手したい、そういうふうな違いが出てくることがございますが、Wi-Fiができましたら、そちらのほうでも使えるようにはしていきたいというふうには思っております。以上です。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** フレイルのほうは民生教育分科会さんのほうなので、そんなに詳しくは聞きませんが、現状、使えるLANケーブルから引っ張っていただいたりですとか、先日も本会議のほうでお話もありました、ポケットWi-Fiのレンタルで対応されたりとかというところだと思んですけど、たまたま補正で同じタイミングで出てましたので、聞かせていただきました。この公民館施設等整備事業のほうのWi-Fi環境整備と、もう一つ、キーポストと防犯カメラの設置ってあるんですが、非接触での鍵の受渡しを行うキーポストというのが少しイメージがつかづらかったので、こちら御説明お願いできますでしょうか。

**○岡田分科会長** 毛利地域振興課長。

**○毛利地域振興課長** 非接触での鍵の受渡しを行うためのキーポスト、これは、玄関横、場所についてはこれから各公民館で適切な場所を設置していくという形になってくると思いますが、電子鍵付きのポストを設置することとございまして、この電子鍵の部分の暗証番号的なものを入力するとポストが開くという状況でございます。この暗証番号をあらかじめ利用者さんに伝えて、公民館のほうから伝えておくと、利用者さんはその暗証番号を入れて鍵を持って帰れる、あるいは鍵を取り出して公民館に入れると、そういうようなイメージでおるところでございます。そういったものが外に、24時間といいますか、夜間も置いてあるということになりますので、そういったことを防止するための防犯カメラという、そういうイメージでございます。

**○岡田分科会長** 奥岩委員。

**○奥岩委員** よく分かりました。ありがとうございます。非接触ってあったので少し悩んだんですけど、通常にキーポストと防犯カメラの設置ということですよ。非接触と言われると、何か本当にどこも触らずに鍵が使える、いわゆるスマートロックシステムなものを想像してしまっただけですけど、通常にキーポストがあって、今のお話のとおり、そこで何か起きないように防犯カメラも一緒につけておくというようなことでよろしいでしょうか。

**○岡田分科会長** 毛利地域振興課長。

**○毛利地域振興課長** そういうイメージで結構でございます。

**○岡田分科会長** ほかにありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 ないようですので、以上で総合政策部所管の審査を終わります。  
予算決算委員会総務政策分科会を暫時休憩いたします。

**午後 1 時 3 9 分 休憩**

**午後 2 時 4 2 分 再開**

○岡田分科会長 予算決算委員会総務政策分科会を再開いたします。  
分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。  
御意見がありましたら、発言をお願いします。

〔「なし」と声あり〕

○岡田分科会長 なし。それでは、特になかった旨、報告させていただきます。  
以上で予算決算委員会総務政策分科会を閉会いたします。

**午後 2 時 4 3 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

予算決算委員会総務政策分科会長 岡 田 啓 介